

目次

■ 目次	1P
■ まずお読みください	2P
■ 避難場所一覧	3P
■ 地震	4P

■ 三豊市総合防災マップ

凡例は最後のページにあります(折り込みページ)

■ 栗島・志々島	地震編 5-6P	風水害編(台風・豪雨) 45-46P
■ 詫間地区 1(生里・箱・大浜・積)	地震編 7-8P	風水害編(台風・豪雨) 47-48P
■ 詫間地区 2(大浜・積・香田・詫間)	地震編 9-10P	風水害編(台風・豪雨) 49-50P
■ 詫間地区 3(詫間・松崎)	地震編 11-12P	風水害編(台風・豪雨) 51-52P
■ 詫間地区 4(詫間)・三野地区 1(吉津・下高瀬)	地震編 13-14P	風水害編(台風・豪雨) 53-54P
■ 三野地区 2(大見)	地震編 15-16P	風水害編(台風・豪雨) 55-56P
■ 仁尾地区 1(家の浦・仁尾)	地震編 17-18P	風水害編(台風・豪雨) 57-58P
■ 仁尾地区 2(仁尾)	地震編 19-20P	風水害編(台風・豪雨) 59-60P
■ 高瀬地区 1(比地・比地中・新名・下勝間・上高瀬)	地震編 21-22P	風水害編(台風・豪雨) 61-62P
■ 高瀬地区 2(上高瀬・上勝間・下麻・佐股)	地震編 23-24P	風水害編(台風・豪雨) 63-64P
■ 高瀬地区 3(下麻・上麻)	地震編 25-26P	風水害編(台風・豪雨) 65-66P
■ 高瀬地区 4(上勝間・佐股・上麻・羽方)	地震編 27-28P	風水害編(台風・豪雨) 67-68P
■ 豊中地区 1(比地大・下高野・岡本)	地震編 29-30P	風水害編(台風・豪雨) 69-70P
■ 豊中地区 2(本山・笠田竹田・笠田笠岡・上高野・比地大)	地震編 31-32P	風水害編(台風・豪雨) 71-72P
■ 山本地区 1(大野・財田西・辻・神田)	地震編 33-34P	風水害編(台風・豪雨) 73-74P
■ 山本地区 2(辻・河内)	地震編 35-36P	風水害編(台風・豪雨) 75-76P
■ 山本地区 3(神田)	地震編 37-38P	風水害編(台風・豪雨) 77-78P
■ 財田地区 1(財田上)	地震編 39-40P	風水害編(台風・豪雨) 79-80P
■ 財田地区 2(財田中)	地震編 41-42P	風水害編(台風・豪雨) 81-82P
■ 財田地区 3(財田中・財田上)	地震編 43-44P	風水害編(台風・豪雨) 83-84P

■ 啓 発

■ ゆれやすさマップ	85P
■ 液状化マップ	86P
■ 風水害	87P
■ 土砂災害	88P
■ 災害時の緊急連絡について	89P
■ いざという時の応急処置	90P
■ わが家の防災メモ・非常時持ち出し品	91P
■ 凡例／緊急連絡先・防災関連施設一覧・お問い合わせ	折り込み

まずお読みください

防災マップの活用方法

日頃から防災マップを活用し、いざという時に備えましょう

ステップ1 自分の地域を確認してください

防災マップには地震時(P5～P44)と風水害(台風・豪雨)時(P45～P84)に想定される災害について色別に表示しています。自分が住んでいる場所の周辺にどのような危険があるか確認しましょう。
※危険箇所の凡例は、最後のページに折り込んであります。

ステップ2 避難場所や集合場所について検討してください

家庭や地域で話し合い、避難場所や集合場所について災害毎に決めておきましょう。
※地震編(P5～P44)に地震発生時の一時避難場所についてワークショップを開催し検討していただいた内容を掲載しています。(●印)
地震発生時の一時的な避難場所や集合場所の参考としてください。なお、避難の際は周辺の状況に注意を払うとともに地震時は建物内へは避難せず、屋外に避難してください。
※風水害時は使えない場所があります。
このほかにも一時避難に適した場所や集合場所がある場合はマップに書き込んでご活用ください。

ステップ3 家族や地域で自然災害や避難の方法について話し合ってください

地域特有の自然災害(水路の浸水、がけ崩れ、高潮など)や避難時に危険な箇所(「ため池」、「狭い道」、「行き止まり」、「塀の倒壊」など)、過去の災害などについて家庭や地域で話し合いマップに書き込みましょう。

ステップ4 避難経路を考えてください

実際に避難場所や集合場所まで歩き、安全な避難経路を確認しましょう。
※避難経路は複数想定しておきましょう。

ステップ5 避難訓練を実施しましょう

家庭や地域で避難訓練を実施し、「いざ」という時の迅速な避難行動につなげましょう。

ステップ6 災害情報伝達手段について確認してください

台風・大雨・地震のときには、防災行政無線・テレビ・ラジオ・防災情報メール・インターネットなどの気象情報や避難情報に注意しましょう。(P89をご覧ください)

ステップ7 家族との連絡方法を決めておきましょう

災害時は電話回線がつながりにくくなりますので、「災害用伝言ダイヤル」や「災害用伝言板」などの利用方法について日頃から家庭で話し合い、確認しておきましょう。(利用方法はP89をご覧ください)

ステップ8 防災マップを目に付くところに備えておきましょう

この総合防災マップや各種ハザードマップを普段目に付くところに備えておき、平常時に確認したり、いざという時には持ち出して、迅速で効果的な避難行動が行えるようにしましょう。